

湖沼の概要

(平成23年度末)

茨城県の概要					
	面積	約6,096km ²			
	人口	約296万人			
	世帯数	約114万世帯			
湖沼の概要		霞ヶ浦			
	面積	220km ²			
	集水域	2,156.7km ²			
	周囲	249.8km			
	貯水量	8億m ³			
	平均滞留日数	約200日			
	水深	平均 : 4m 最大 : 7m			
	特徴	<p>霞ヶ浦は、茨城県の南東部に位置し、その集水面積は県全体の面積の約35%を占めています。琵琶湖に次いで国内第2位の湖面積を持ちます。</p> <p>霞ヶ浦は、この地域で暮らす多くの人々のもとに生活用水や農業用水等を送るとともに、漁業・農工業など地域の産業を支え、県民の暮らしにとって大切な存在となっています。</p>			
下水道施設の概要		<p>霞ヶ浦流域では、霞ヶ浦湖北、常南、水郷、小貝川東部の4つの流域下水道と8つの単独公共下水道が供用開始されております。さらに、平成25年度の供用開始を目指し、残り一つの単独公共下水道を整備しております。</p> <p>各流域下水道の概要は次のとおりです。なお、茨城県の下水道普及率は、平成23年度末で57.9%であり、霞ヶ浦流域内での普及率は59.7%となっております。</p>			
		霞ヶ浦湖北	霞ヶ浦常南	霞ヶ浦水郷	小貝川東部
	流域下水道の概要	<p>計画区域は、土浦市、石岡市の一部、かすみがうら市の一部、小美玉市、阿見町の4市1町を対象とし、昭和54年1月から供用開始しました。</p> <p>処理人口は約231千人で、普及率69.2%となっております。</p>	<p>計画区域は、つくば市の一部、龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市の一部、利根町、河内町の4市2町を対象とし、昭和51年6月から供用開始しました。</p> <p>処理人口は約323千人で、普及率80.8%となっております。</p>	<p>計画区域は、潮来市、行方市の一部の2市を対象とし、昭和61年4月から供用開始しました。</p> <p>処理人口は約25千人で、普及率55.9%となっております。</p>	<p>計画区域は、筑西市の一部、桜川市、つくば市の一部、下妻市の一部の4市を対象とし、平成15年4月から供用開始しました。</p> <p>処理人口は約14千人で、普及率18.1%となっております。</p>
	特徴	<p>霞ヶ浦の富栄養化を防止するために、霞ヶ浦を放流先とした8処理場で、通常の有機物除去を中心とした標準処理に加え、窒素・りんを除去を行う高度処理方式を採用しています。</p>			

○霞ヶ浦の水質の推移

CODについては、近年はほぼ横ばいで大幅な改善には至っておりません。全りんについては、昭和60年度以降、上昇傾向を示してきましたが、平成20年度以降は、ほぼ横ばいで推移しています。しかし、全窒素については、依然として改善が進んでいない状況となっており、この要因の一つとして、畜産や畑作地域等を抱える北浦流入河川における全窒素の濃度上昇が考えられます。

